

ピクニックコンサート in パノラマ



8月28日、パノラマスキー場において、デキシ - ジャズを中心とした野外コンサートが開かれました。

ゲレンデでは家族連れなどで訪れた1000人を越える人々が思い思いにお弁当やバーベキューを囲みながら、晩夏のパノラマに響く生演奏を楽しみました。

フィナーレでは演奏者がステージから会場へ降り、観客の皆さんと一緒に輪を作って演奏し、最高の盛り上がりとなりました。



どうぞ、いつまでもお元気で！



2人合わせて207歳

横浜市在住の五味さんご夫妻は、夫の与市さんが104歳、妻のかそのさんが103歳というご長寿夫妻で、夫婦合わせての年齢記録をギネスに申請中だそうです。なんと与市さんは富士見町乙事、かそのさんは小六のご出身だそうです。

ご長寿の秘訣は、「常に前向きな姿勢で生きること、そしてやりたいことをやること」とおっしゃる元気なお二人です。



平出かねえさん(100歳)田端 小林うめさん(99歳)高森

9月13日、敬老の日を前に町内の99歳以上の在宅高齢者6人を町長がお祝いに訪問しました。平出さんは、テレビを見たり新聞に目を通したりするかたわら、豆の皮むきなどのお仕事もされているそうです。また、小林さんはお訪ねした際、写真撮影をお願いすると、「写真を撮るならもっと明るい色の服を着ればよかったわ。」と若々しい笑顔でおっしゃいました。

お二人ともご長寿の秘訣は「好き嫌いをせず何でも食べて、規則正しい生活をする事」だそうです。日々さわやかに過ごしていってほしいです。

ふるさとのみなさんへ 東都高原富士見会だより



中 沢 伴子
東京都町田市
(木の間出身)

なくなり、淋しいかぎりです。

この地に来て子育て(娘二人)等々忙しく、夢中で過ごして参りました。そんな時でも故郷富士見を忘れたことはありませんでした。実家では、いつ行っても気持ち良く迎えてくれますので、それに甘えて毎年四、五回は帰省したものでした。

娘達も結婚し、二人とも比較的近くに住んでいますので、時々孫(五人)を連れて遊びに来てくれるのが何よりの楽しみです。主人は、大好きな民謡を長い事やっていて、尺八も毎日欠かさず練習し、それを聞くのも楽しみの一つです。私も旅行、パッチワーク、時にはカラオケなども楽しんでます。今は主人共々、健康で過ごせることを幸せに思っています。

東京中野区から町田市に移り住んで三十六年。当時の町田市の人口は二十万人。緑が多く空気のおいしい町でした。小田急沿線で都心に通うベツドタウンとして急発展しており、人口も急増中でした。特に町田市は福祉に力を入れていてる事でも有名です。

昭和五十年頃は子供達の数も多く、小学校の隣に道路一本挟んで又小学校が建つと言う時もありました。今では人口も四十万人を超え、小田急線町田駅の乗降客も新宿駅に次ぐ多さとも言われています。

時代とは言え町田市も高齢化が進み、又少子化で学校を統合せざるを得